

授業科目

助産学実習I

担当教員名 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、山口 典子 他	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

妊娠期から分娩期、産褥・新生児期まで継続的に1名以上の対象者を受け持ち、各期に必要なケア（フィジカルアセスメントを含む）および保健指導を実施し、助産活動に必要な基礎的能力を養う。

授業の目的

妊産婦・胎児・新生児およびその家族に対して、助産の基礎知識、技術、態度を統合して活用し、助産過程を展開する。さらに助産活動をとらして各期のケアの理念、全人的アセスメントについて理解を深めることを目的に実習する。

学習目標

- 1 助産過程を用いて、対象者（継続受け持ちケース）に必要な看護を考察し、実践する。
- 2 対象者（継続受け持ちケース）の妊婦健康診査ならびに保健指導を実践する。
- 3 対象者（継続受け持ちケース）の産褥期および新生児期（退院後も含む）の保健指導を実践する。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
実習施設において妊娠期（胎児期）から産褥期、新生児期までの対象者を継続して受け持ち、助産過程を展開し、助産活動を実践する。		下山 博子 他
継続受け持ちケースの妊婦健康診査と保健指導	対象者の妊婦健康診査に同行し、保健指導を実施する	下山 博子 他
継続受け持ちケースの産褥期・新生児期の保健指導	対象者の入院中および退院後の保健指導を実施する	下山 博子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美	日本看護協会出版会	2015年	3,600円＋税	
	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子	日本看護協会出版会	2015年	3,600円＋税	
	助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子	日本看護協会出版会	2015年	3,600円＋税	
参考書	助産学講座5 助産診断・技術学 I	堀内成子	医学書院	2013年	3,800円＋税	
その他の資料	実習要項					

評価方法

看護実践内容（保健指導評価表に基づく）50%程度
実習記録（助産過程評価表に基づく）50%程度

履修上の留意点

実習方法等内容の詳細については、実習オリエンテーションにて説明します。
受け持ち継続ケース決定後、他の必修科目と並列して実習は進行するので、学習計画を立てて実習に臨むこと。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは特に指定しません。記録の提出、指導を受ける際には、事前にアポイントをとってください。
研究室 K405（第4研究・実習棟4階）
連絡先 hiroko-s@nuhw.ac.jp